

松波仁一郎 （海軍法學者、法學博士。渡應四年一月一日東京國
岸和田生れ、昭和二十年十一月二日歿）（公刊一九四五年）。同社社長、
明治二十六年帝國大學法科大學卒。歐洲留學。海軍省戰時國際法顧問、
海軍大學校教官、東京帝大教授歴任。次いで日本大學教授兼商學部長を
務め、明治大學、早稲田大學、中央大學にも出講。帝國學士院會員。
隨筆を能くした。

其著書に『萬國會議下洋行報告』（大正十二年末自序、無刊記）、『白
あきの恒観き』（昭和十一年九月二十一日大日本雄辯會講談社）、『白
童旗』（昭和十四年十月十一日教壇奇「教壇叢書」）、『馬の骨』（昭
和十六年六月二十一日文藝春秋社）等。

